

小中連携による

魅力ある学校づくり

平成26・27年度の2年間、国立教育政策研究所の委嘱を受け、拠点校の北中学校と連携校の薦原小・美旗小・桔梗が丘南小・桔梗が丘東小・すずらん台小の6校は、『9年間の育ち』を視野に入れ、子どもたち一人ひとりが「学校が楽しい」「勉強が面白い」「みんなと協力することが楽しい」と感じることができる「魅力ある学校」となるようめざしています。



桔梗が丘東小学校



すずらん台小学校



美旗小学校



薦原小学校



北中学校



桔梗が丘南小学校

生徒会からのメッセージ

今年は「生徒会の5つの目標」とともに、「一日一歩～継続は力なり～」というスローガンを掲げています。これは一人ひとりが日々少しずつ前進して、成長していけるようにという思いをこめました。また今年の生徒会では、各イベントを生徒主体で取り組んでいます。自分たちで考えて自主的に行動することが自立への第一歩だと考えたからです。そんな自立した学校にしていきたいです。これからもよろしくお願いします。

北中学校生徒会



北中学校区における取組の方向

9年間の育ち

1中5小での取組

課題

中学校区6校の児童生徒に見られる姿として、表面的な人間関係の中で生活し、自分に自信が持てない子どもが多い。そのため学習や集団生活に主体的に取り組めない姿が見られる。

課題に対する仮説

「魅力ある学校づくり」

中学校区全体で「授業づくり」や「人間関係づくり」を通して、自己有用感を高めることで、自分に自信も持ち、自主的に行動できるようになるだろう。

中学校区内で主体的に判断し行動できる子どもが育つ

小中連携
小小連携

いじめや不登校の未然防止

保護者・地域との連携
関係機関との連携

取組の内容（中心となる3つの取組）

- ・分かる授業づくりと学習意欲の向上
- ・豊かな人間関係と居場所づくり
- ・生き方を学ぶ教育活動の充実

3つの柱を共通とした各学校の創意工夫を生かした取組

PDCAサイクルによる取組

- ・ **P** (Plan) 校区で取り組む具体的な内容
- ・ **D** (Do) 各学校での具体的な取組
- ・ **C** (Check) 意識調査
- ・ **A** (Action) 分析 今後の取組検討

意識調査の結果をもとに、学期ごとに「何が良くて、何が足りないのか」等を全教職員で協議

平成26年度

成果

- ・ 3つの柱を中心に小中連携による共通実践がすすんだ。
- ・ 義務教育9年間で視野に入れ、子どもの姿を共有する筋道ができた。
- ・ PDCAサイクルにより、取組への目標や内容が明確になり共通理解がすすんだ。

課題

- ・ 主体的に学習する授業態度を育てるための取組の充実
- ・ 校区全体での取組と各学校の特徴を生かした取組の明確化
- ・ 各学校での具体的な行動計画の共有と浸透化

平成27年度

1. 「北中学校区 魅力ある学校づくり推進プラン」の策定と推進プランにそった取組

(1) 主体的な態度の育成

(2) 3つの柱による取組の充実

- ・ 「分かる授業づくりと学習意欲の向上」・・・学びの基盤づくり 共に学び合う学習活動
- ・ 「豊かな人間関係と居場所づくり」・・・社会的スキルの育成 自己や他者を大切にしたい集団づくり
- ・ 「生き方を学ぶ教育活動の充実」・・・心に響く授業実践 小小、小中、地域との連携

2. 「意識調査」等の結果を指標とし、検証、改善を繰り返しながら実践をさらにすすめる。

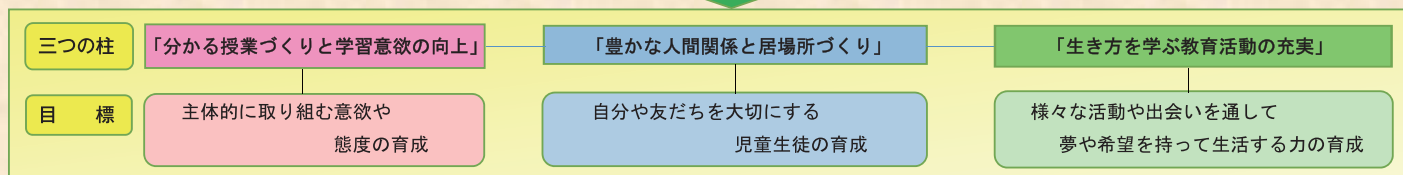
学校間での取組の具体化のための工夫

北中学校区 「魅力ある学校づくり」 推進プラン

名張市立北中学校区
「魅力ある学校づくり」
推進プラン

目指す児童・生徒像

互いに認め合う仲間と共に行動し、学ぶ喜びや自己有用感をもつことができる児童生徒



取 組 内 容

学びの基盤づくり ○授業の構造化 ○学習規律の共通化 ○家庭学習の充実	共に学び合う学習活動 ○「学習形態」を工夫した主体的な授業づくり ○「主体的に学ぶ姿」の共通化	社会的なスキルの育成 ○共通項目の設定と定着 ○共通した月間目標の設定	自己や他者を大切にする集団づくり ○学校行事を通じた集団づくり ○児童、生徒会、係活動の充実	心にひびく授業実践 ○出会いや体験活動の実践 ○自分の考えを持つ場面の設定	小小、小中、地域との連携 ○異年齢集団との交流 ○地域の人々との交流
・「授業スタンダード」の確立 ・「学習規律」の共通化による安心して学べる環境づくり ・具体的な方法を示した家庭学習の推進	・「学び合い学習」や「ペア・グループ学習」による課題解決 ・「しっかり聴く、すすんで発表する、ねばり強く考える」の主体的に学ぶ姿の共通化	・「生活の心得 3か条」あいさつ 時間を守る 清掃活動 の実践 ・共通の強化月間の設定	・集会や発表会など、子どもが活躍する場面設定 ・責任感や自主的な活動となる内容設定 ・肯定的な「振り返り」による認め合う場面設定	・ゲストティーチャーの活用 ・体験的な学習活動の設定 ・人権教育や道徳教育の充実	・縦割り活動の導入 ・地域の施設や人々との交流 ・教師の共通研修

具体的な「アクションプラン」の作成

校区内の実践を知る機会として

以前より中学校区で定期的に行われていた人権教育や生徒指導の連絡協議会とともに、中学校区内で共通した取組についての意見交換や児童生徒の「意識調査」の結果についての検証・分析のため、「魅力ある学校づくり」小中連絡会を定期的に行っています。本年度は推進プランにそって「教職員振り返りシート」を作成し、取組の検証も行っています。



「魅力ある学校づくり」小中連絡会

「誰が」「誰に」
「何のために」・・・
・今までの取組の振り返り
・今後の取組の確認

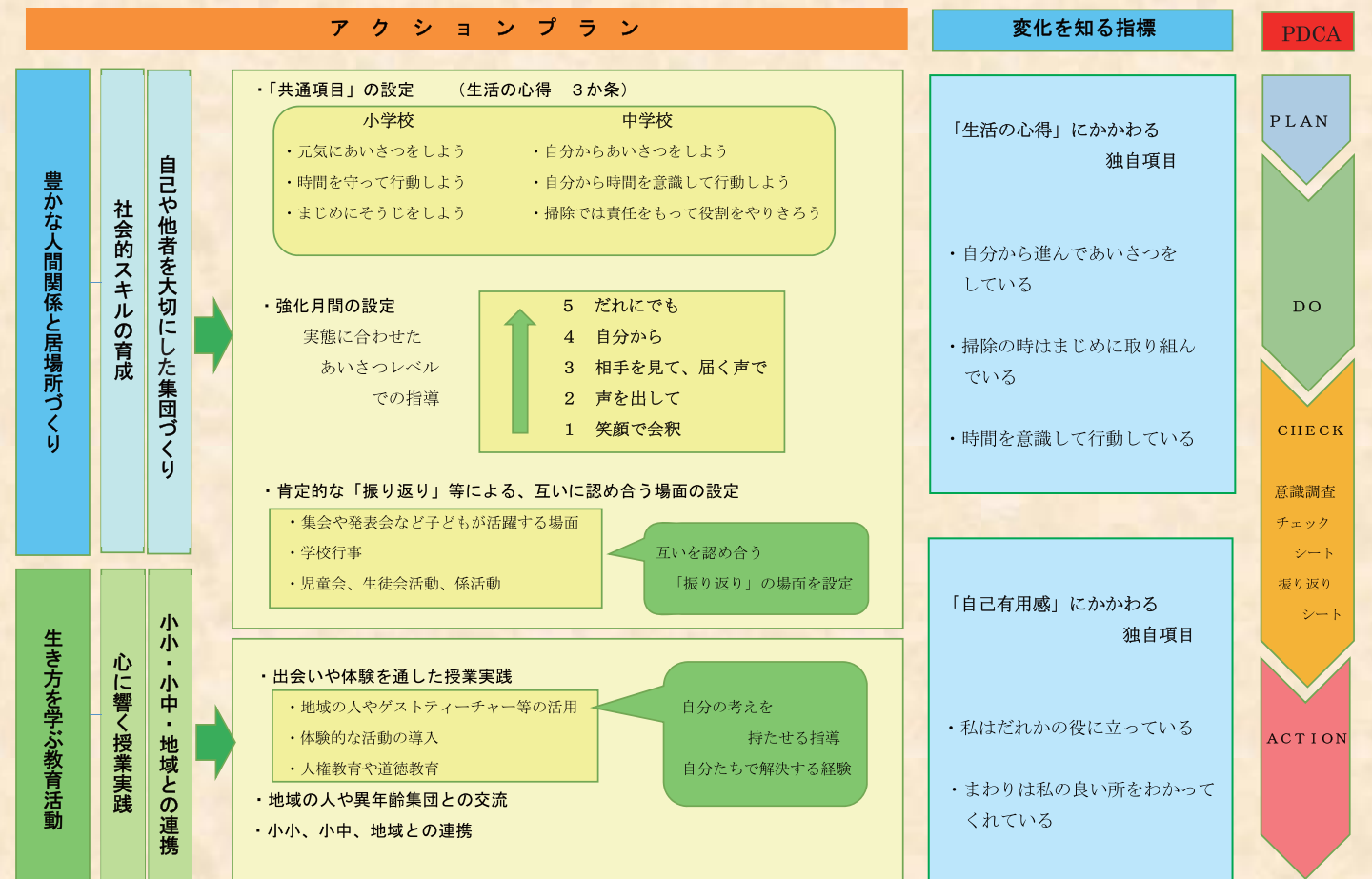
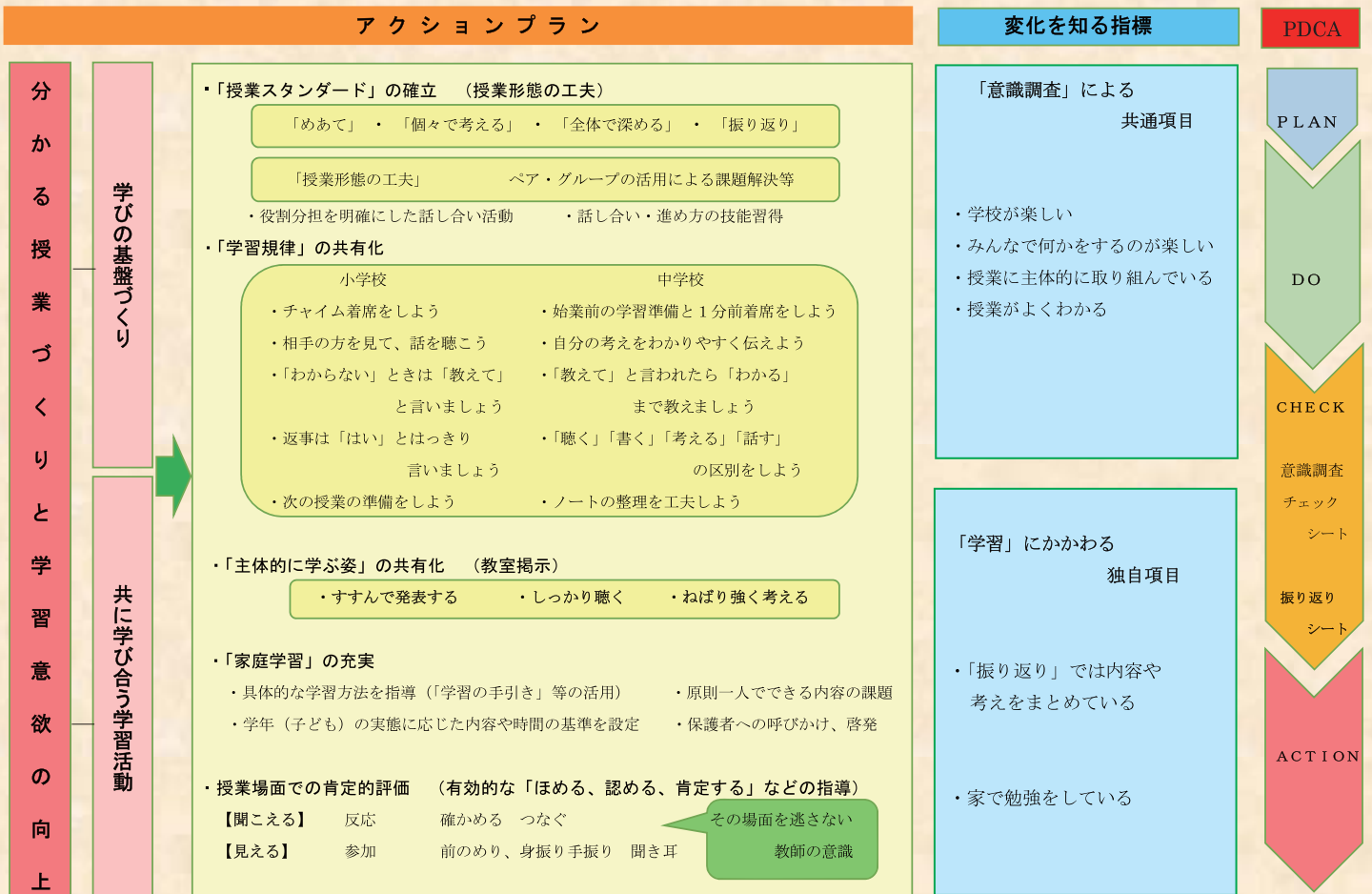


北中校区全教職員による合同研修会



具体的な行動計画としての「アクションプラン」

北中校区 すべての学校で！



取組1 「分かる授業づくりと学習意欲の向上」 ～主体的に取り組む意欲や態度を育てる～

27年度

○ 学びの基盤づくりと共に学び合う学習活動

- ・ 学ぶ喜び、分かる楽しさを味わうために「めあて」と「振り返り」を入れた授業の構造化
- ・ ペア・グループ学習の活用による授業改善
(児童、生徒同士の呼びかけや働きかけによる授業スタンダードの確立)
- ・ 「主体的に学ぶ姿」の明確化
- ・ 家庭学習の習慣化

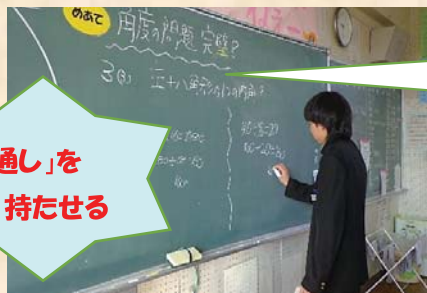
グループ活動やペア学習など、聴き合い学び合う場面を意図的に授業に取り入れ、協力して課題に取り組むことで、自ら学ぶ意欲を育てています。また、授業の初めには授業の「めあて」を示し、見通しを持って授業にのぞめるようにしています。授業の終わりには「振り返り」の時間を確保し、自分の言葉で授業のまとめを行っています。



すべての子に
自分の意見を言う
機会を…

学び合う授業

「見通し」を
持たせる

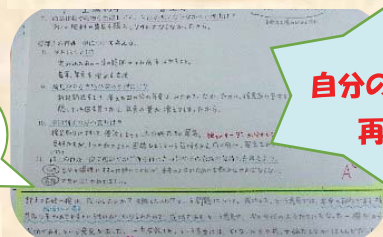


「めあて」
角度の問題を
完成させよう！

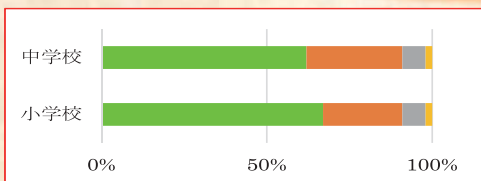
「振り返り」
本日のまとめ、理解
できたこと

「めあて」と「振り返り」のある授業

自分の考えの
再構築



「児童・生徒のノート」より



「家庭学習に
取り組んでいる」
(H27・12月)

■ 当てはまる ■ どちらかという当てはまる
■ どちらかという当てはまらない ■ 当てはまらない



学ぶための
環境整備

「主体的に学ぶ姿」とは…

進んで発表しよう！
ねばり強く考えよう！
しっかり聴こう！

小中での共有化

全ての学校の
全ての教室に

主体的に学ぶ姿
○ 進んで発表しよう
○ ねばり強く考えよう
○ しっかり聴こう



ねばり強く考えよう！

進んで発表しよう！

しっかり聴こう！



27年度

○ 社会的スキルの育成と自己や他者を大切にした集団づくり

- ・ 校区内での生活の心得やあいさつ等の強化週間の設定
- ・ 行事や日常生活での肯定的な「振り返り」による互いに認め合う場面の設定
- ・ 児童会や生徒会を中心とした自治的活動の推進

生活規律や学習規律の共通化



児童会や生徒会が中心となり「あいさつレベル」のUPを呼びかけ、個人や集団としての目標を設定。

行事の「振り返り」



「体育祭」や「文化発表会」を振り返る「シェアリング」



互いのがんばりを認め合う「ありがとうメッセージ」を完成させています。



桔梗が丘東小学校

親和的な集団づくり

「クラス会議」

悩んでいることや困っていることを、みんなで解決していこうとする姿が見られるようになってきました。

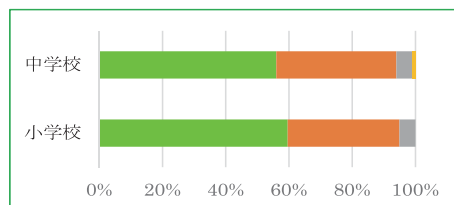
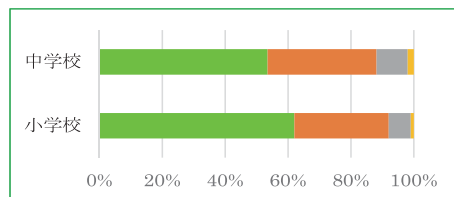
「学校生活」にかかわって



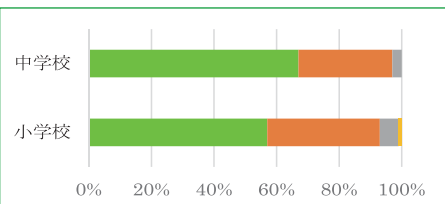
進んであいさつをしている

時間を守って行動している

(H27・12月)



そうじを頑張っている



27年度

○ 心に響く授業実践と小小・小中・地域との連携

- ・ 地域の方とふれあう場面の設定
- ・ 体験的な活動の充実
- ・ 行事を通じた異年齢集団との交流



「地域との
合同運動会」

地域との合同運動会を楽しんだ後に、地域の方から取組の思いを聞きました。その思いを受けて、さらに運動会をよくするための方法やアイデアを自治会長さんをはじめ、地域の方に提案しています。

薦原小学校



お世話になっている地域の清掃活動
北中「クリーンキャンペーン」

地域交流

地域の老人クラブとの交流。保護者も参加し、3世代での交流になっています。

桔梗が丘南小学校



北中学校の「文化発表会」を桔梗が丘東小で実施。中学生の合唱を小学生も鑑賞しました。



ボランティア体験で学んだことをお世話になったボランティアさんの会に参加し、発表しています。

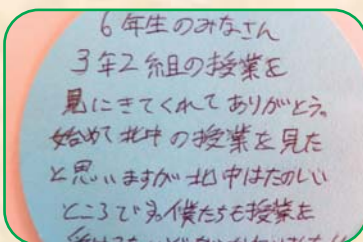
すずらん台小学校

小中交流

中学校の様子を知り、中学校生活に希望やあこがれを抱くことや、いわゆる「中一ギャップ」の緩和を目的に美旗小学校の6年生が授業参観に訪れました。中学3年生からは最上級生としての責任や中学校生活に向けて、小学校でつけておく力について伝えていました。



美旗小6年生からのお礼の手紙に対して中学3年生より「メッセージ」を送りました。

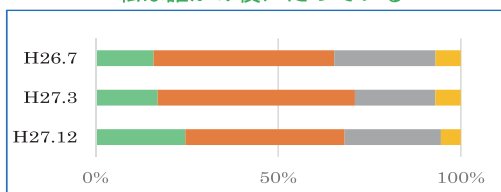


■ 当てはまる ■ どちらかという当てはまる ■ どちらかという当てはまらない ■ 当てはまらない

「自己有用感」をはかる指標として

中学校

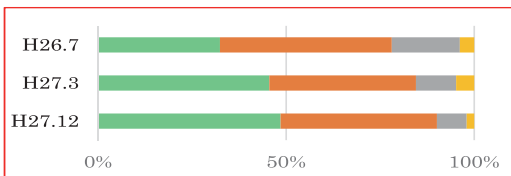
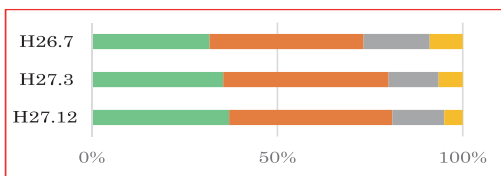
私は誰かの役にたっている



まわりの人は私のよいところをわかってくれる



小学校（全体）

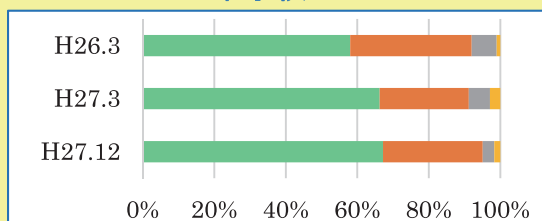


児童生徒の「意識調査」より

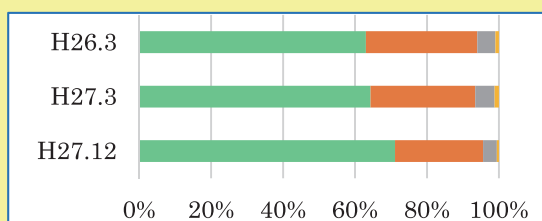
■ 当てはまる ■ どちらかという当てはまる
■ どちらかという当てはまらない ■ 当てはまらない

北中学校区では、児童生徒の意識や実態を把握するための調査やアンケートを定期的の実施しています。常にその結果に基づいて取組の検証・改善を行い、児童生徒の意識や実態に合った取組を行っています。

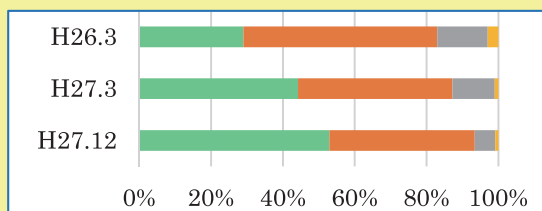
中学校



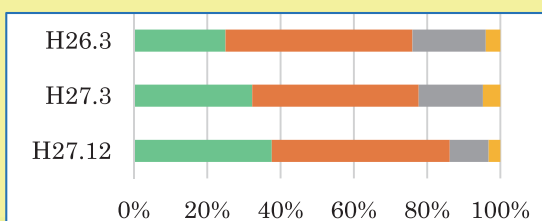
学校が楽しい



みんなで何かをするのが楽しい

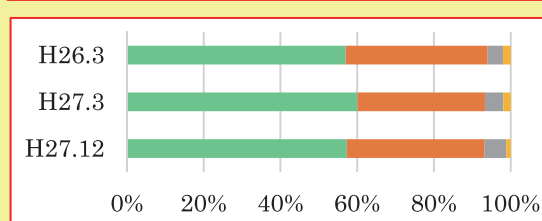
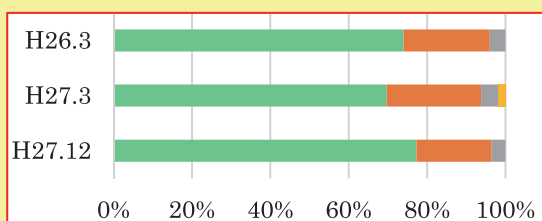
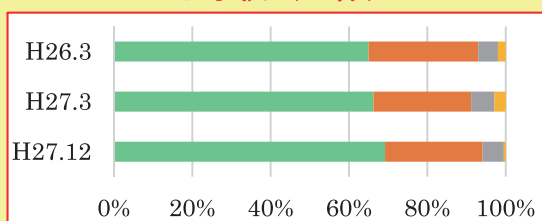


授業に主体的に取り組んでいる



授業がよくわかる

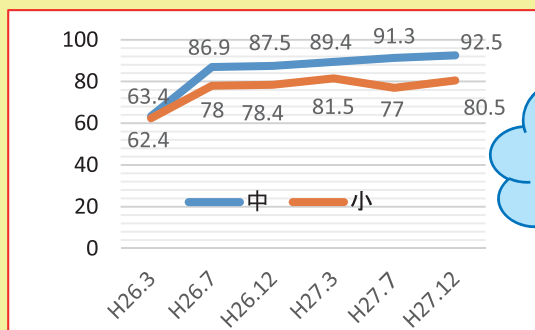
小学校（全体）



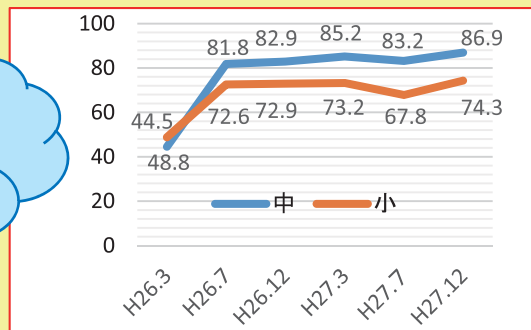
「生活」に関する項目（抜粋）

（「全くなかった」と回答した割合）

たたかれたり、蹴られたり、強く押されたりした



いじわるをされたり、イヤな思いをさせられた



「全くなかった」と回答した割合が増加

保護者のみなさまへ

北中学校区では、昨年度より国立教育政策研究所の委嘱を受け、小中6校が連携して子どもたちが生き生きと学べる授業の工夫と一人ひとりが自己有用感を高めることに取り組んできました。義務教育9年間を見たときに、すべての子どもの学びをイメージした小中学校のスムーズな接続や子どもの心理的・身体的発達段階に応じた指導等が重要になってくると考えます。今後も子どもの将来像を見据えた連続性のある「9年間の育ち」を意識し、「子どもの居場所づくり」や「絆づくり」を保護者や地域の皆様のご協力を得ながら、北中校区6校で連携して取組をすすめていきたいと考えています。